

◎ノボリン 30R 注フレックスペン [注]

【重要度】 【一般製剤名】 インスリン ヒト (遺伝子組換え) Insulin Human (genetical recombination) 【分類】 混合型インスリン製剤

【単位】 ◎100 単位/mL [1 本 3mL]

【常用量】 1 回 4~20 単位

【用法】 朝食前と夕食前 30 分以内に皮下注 [1 回の場合は朝食前]

【透析患者への投与方法】 血糖値に応じて投与 (1)

【その他の報告】 50%に減量 (10,17)

【PD】 50%に減量 (17) PD 患者にバッグ内投与されたインスリンはバッグやチューブなどに 14%吸着する。腹膜からの吸収は 17~66% (平均 38%) と個人差が大きい (Fine A, et al: Perit Dial Int 20: 652-655,2000)

【CRRT】 75%に減量 (17)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 血糖値に応じて投与 (1)

【その他の報告】 Ccr >50mL/min : 減量の必要なし, Ccr10~50mL/min : 75%に減量, Ccr<10mL/min : 50%に減量 (3,10,17)

【特徴】 速効型インスリンと中間型インスリンを 3 : 7 で含有する混合製剤。懸濁製剤のため十分混和し均一にした後に使用。

【主な副作用・毒性】 低血糖, ショック, 血管神経性浮腫, 過敏症, 注射部位異常など

【F】

【tmax】

【代謝】

【排泄】

【t1/2】

【蛋白結合率】

【Vd】

【透析性】

【備考】 使用中は冷蔵庫に入れず, 室温に保管し, 6 週間以内に使用する (1)

【更新日】 20240321

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。